



JI ACCIDENT &
FIRE INSURANCE
CO.,LTD.

留学・長期旅行・駐在員プラン

ジェイアイの 海外旅行保険

2011年4月
改定版
(4月1日以降出発用)



OVERSEAS
TRAVEL
INSURANCE

引受保険会社

海外旅行保険のエキスパート
ジェイアイ傷害火災
<http://www.jihoken.co.jp>

ご存知 ですか？

33人に1人※が海外で なんらかの事故・病気に遭遇

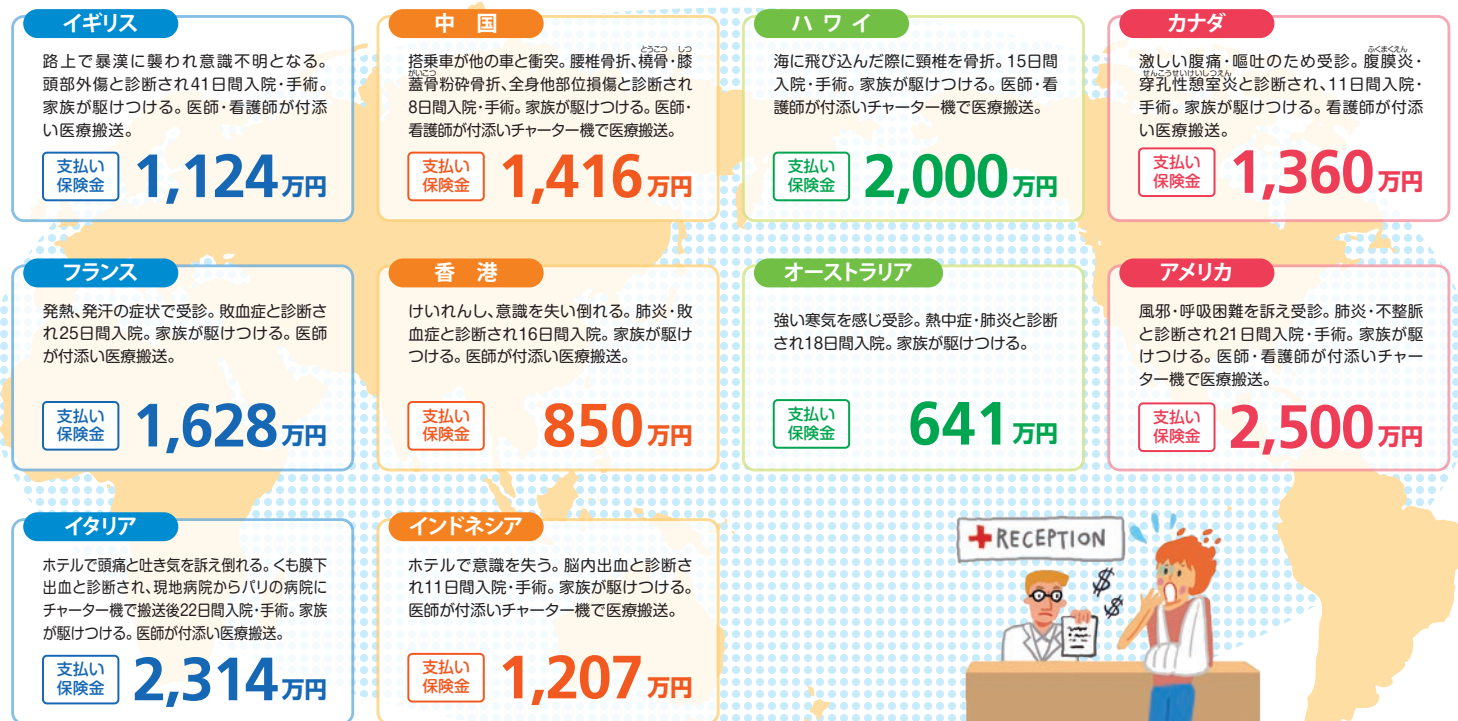
また、世界各地で、高額な費用を 必要とする事故が発生しています！

※2009年度弊社実績



世界の事故実例

※実際に弊社がお支払いした事例です。保険金でお支払いする費用等の内容は保険約款によります。



海外高額 事故実例



※2007年度～2009年度の間で実際に弊社がお支払いした事例です。保険金でお支払いする費用等の内容は保険約款によります。

スロベニアでの事故例

観光中に意識を失う。脳内出血と診断され、現地病院からヘリコプターで設備が整った病院へ搬送後30日間入院・手術。家族が駆けつける。医師・看護師が付添いチャーター機で医療搬送。

支払い保険金 **3,706万円**

ポーランドでの事故例

バス乗車中、雨で濡れていたため滑って転倒。座席の肘あての金具に頭と肩を強打。転倒直後より、手足を動かすことが困難となり、現地病院に入院、脊髄損傷と判明。帰国後の入院治療で、機能回復せず上肢機能障害・体幹機能障害にて、後遺障害認定。

支払い保険金 **4,625万円**

ご注意!! クレジットカードにセットされている保険・補償内容をご確認ください。

補償の内容をご存知ですか？

- ①クレジットカードにセットされている保険では、病気による死亡は補償されていないのが一般的です。
- ②カードによっては、補償額が十分でない場合や、まったく補償がないものもあります。
- ③一般的には複数のカードを所持していても、その合計額が支払われる訳ではありません。所持しているカードの中で最も高い補償額を限度として支払われます。（傷害死亡・後遺障害のケース）

緊急時に外国語で 対応できますか？

クレジットカードにセットされている保険の場合、契約確認などに時間がかかる事での事故対応の遅れや、病院の手配から通訳の手配まで、すべてご自身で対応する必要がある場合があります。

長期のご旅行には 向きません。

クレジットカードにセットされている保険の補償の開始は、カードが発行されてから1か月後で（一部のカードを除く）、また、補償期間は3か月までが一般的です。（3か月未満のカードもあります。）



お客様が渡航先でお困りになったり
トラブルに巻き込まれた時に、一番必要なのは現地における
プロフェッショナルなサービスです



業界
No.1
(注)

Jiデスク

海外主要55都市をカバーするJiデスクでの現地トラブル対応！

現地の事情に精通した担当者が日本語で事故・トラブルの相談を受付けいたしますので安心です。

各種トラブル時のご相談例



(注) 2011年2月現在における主要各保険会社のガイドブックまたはホームページで表記されている海外旅行保険加入のお客様用日本語対応デスク数の比較による。

設置都市は裏面をご参照ください。

キャッシュレス治療

海外300カ所を超えるJi提携病院でのキャッシュレス治療！

- ①ジェイアイでは、安心して治療が受けられるように日本語の話せる医師、スタッフがいる病院を中心に海外300カ所以上にJi提携病院を設置しております。
- ②弊社が直接病院へ治療費をお支払いいたしますのでキャッシュレスで治療を受けることができます。



緊急メディカルサービス

渡航先で、万一、重症になった場合に！

万一渡航先で重症となり、緊急手術が必要な場合や日本までの医療搬送が必要になるような場合も、病院の手配からご自宅への医療搬送まで対応いたしますので安心です。



スーツケース 引取り・修理・お届けサービス

送料負担がありません！ 煩わしさから解消！

スーツケース破損時は、ご自宅まで宅配業者がお引取りにうかがいます。修理会社に持参するお手間もかかりません。提携する修理会社での修理後は、宅配業者からご自宅にお届けいたします。

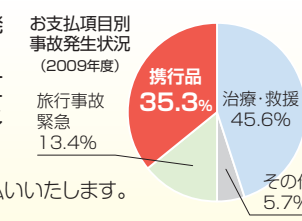


携行品損害は、新価※でお支払い

携行品損害の2009年度弊社事故発生件数は全体の35.3%を占めます。一般的な海外旅行（傷害）保険、カード保険では、時価額（減価償却）にてお支払いされる携行品損害もジェイアイなら新価でお支払いします。

(注1) 修繕可能な場合は修繕費をお支払いいたします。（ただし新価を限度とします。）

(注2) ご契約タイプに携行品損害がセットされている場合
※同等のものを新たに購入するのに必要な金額



保険金現地支払いサービス

Jiデスク(現在:全世界46デスク)で
保険金をその場でお支払いするサービスです。

帰国してから請求していた医療関係費用が現地で支払われるため、金銭的な負担が軽減されます。またご請求時の手続きも対面のため、わかりやすくなっております。

対象となる場合	病気・ケガが発生し、医師の治療を受けた場合（保険金支払いの対象となる場合に限りです）
支払い内容	・治療費（本人が立替えている分） ・薬代 ・病院までの交通費 ・保険金請求に必要な医師の診断書費用

支払い限度額	5万円(日本円換算)
対象となる契約	保険期間(保険のご契約期間) 1年以内の海外旅行保険

※ご利用の際は事前にJiデスクにご連絡ください。

持病をお持ちの方への情報提供・紹介サービス

「現地の医師に持病の内容が伝わるだろうか？」
「現在服用の薬やアレルギーを英語で説明したい」
「事前に健康相談できるところはあるだろうか？」

海外旅行に伴う不安を少しでも和らげることができるよう、弊社ホームページ上で、持病をお持ちの方への情報提供やサービス提供会社（原則有料）をご案内しています。
ジェイアイホームページ <http://www.jihoken.co.jp/>
(注) 弊社が直接医療上のアドバイスやサービスを提供するものではありません。ご旅行にあたっては主治医と充分ご相談の上、ご出発されることをお勧めいたします。

海外での思わぬアクシデント！こんなとき、Jiの海外旅行保険

詳しくは「ご契約いただく海外旅行保険の概要」にてご確認ください。

CASE 1 まさかの死亡事故！ 死亡（傷害・疾病）
旅行中に発生した事故や発病した病気により死亡された場合

CASE 2 後遺障害が生じた！
傷害後遺障害
事故により身体に後遺障害が生じた場合
後遺障害の程度に応じ傷害後遺障害保険金額の3%～100%をお支払いします。

CASE 3 入院した！
家族も現地に急行！
治療・救護費用
●ケガや病気で医師の治療・手術を受けられた場合
●継続して3日以上入院した際にご家族の方に現地に来てもらう場合
●妊娠初期の異常についても補償の対象となります。
(注1) 保険期間が期間延長も含め、31日までのご契約に限り適用されます。
(注2) 日本国内の公的医療保険制度において療養の給付の支払対象となる症状に相当する妊娠に関する症状が対象となります。また妊娠満22週以後に発生したものを除きます。

CASE 4 突然の入院！
入院一時金
突然のケガや病気で2日以上入院することになった場合
(注) 入院一時金とは、保険金のお支払いの対象となる治療により、治療・救護費用保険金をお支払いする場合で、その原因となったケガ・病気により2日以上続けて入院をされたときに、ご契約時に定めた金額を一時金としてお支払いするものです。

CASE 5 水浸しにしてみました！
●個人賠償責任
ホテルの客室を水浸しにしたり、誤ってお店の商品をこわしてしまった場合で法律上の損害賠償責任を負った場合
●個人賠償責任（長期契約用）
誤って滞在中の部屋を水浸しにしたり、レンタルしていた家具を壊してしまった場合で法律上の損害賠償責任を負った場合
●家族総合賠償責任
投宿中のホテルに損害を与えたり、住宅内で一時的に預かった招待客のコートを破いてしまった場合で法律上の損害賠償責任を負った場合
●被害者治療費用
法律上の損害賠償責任に関わらず、住宅内で来客等がケガをした場合にその治療費を負担した場合

CASE 6 盗まれた！
携行品損害（身の回り品）
旅行カバンを盗まれたり、ビデオカメラを落として破損してしまった場合
(注1) 紛失または置き忘れによる損害については保険金をお支払いできません。
(注2) 保険金のお支払いにあたっては、携行品1つ（1点・1組または1対）あたり10万円を限度とします。

CASE 7 アパートが火災に！
生活用動産（長期契約用）
滞在中のアパートやホテルで盗難・火災などにより家財・携行品に損害があった場合

CASE 8 荷物が届かない！
飛行機が飛ばない！ 飛行機が遅延！
●旅行事故緊急費用
①航空機に預けた手荷物が航空機の到着後6時間を経っても運搬されずに、当面必要な身の回り品等を購入した場合
②悪天候や機体の異常などで航空機の出発が遅れたために宿泊代、食事代、交通費（代替となる他の交通手段を利用した場合も含みます）を負担した場合
③国際電話代、旅行サービスの取消費用を自己負担した場合
(注) 公的機関、交通機関、宿泊機関、医療機関または旅行会社により、発生の証明がなされる偶然な事故が対象となります。

●航空機寄託手荷物遅延
航空機に預けた手荷物が航空機の到着後6時間を経っても運搬されずに身の回り品等を購入した場合
●航空機遅延費用
悪天候や機体の異常などで航空機の出発が遅れたために宿泊代、食事代、交通費（代替となる他の交通手段を利用した場合も含みます）を自己負担した場合

CASE 9 旅行途中で緊急帰国！
旅行変更費用
●被保険者または同行予約者の配偶者・3親等内の親族が死亡された場合、または危篤となった場合
●被保険者または同行予約者の居住する建物またはこれに収容される家財が火災、台風、なだれ等により100万円以上の損害を受けた場合
(注) 保険料領収前または契約日前に、保険金支払事由またはその原因（病気の発病）が生じていた場合は保険金のお支払いの対象とはなりません。

CASE 10 突然帰国の必要が！
緊急一時帰国費用
日本にいるご家族の身に不幸があったため、急に帰国することになった場合
(注) 帰国後30日以内に再び海外の住宅へ戻ることがお支払いの要件となります。

CASE 11 扶養者が亡くなり留学継続が困難に！
留学継続費用
留学生の扶養者が事故により死亡または重度後遺障害となり、留学生在が扶養者によって扶養されなくなった場合
保険金額に残りの予定留学期間（端日数は日割）を乗じた額をお支払いします。

CASE 12 社員が死亡した！
代替要員派遣費用
海外渡航中にケガ・病気による死亡または、3日以上入院をされたことにより、会社（雇用主）が代替の駐在員を派遣するための費用を負担した場合
契約者が会社（雇用主）の場合にご利用いただけます。

こんなときの保険金はお支払いできません。
●故意、犯罪行為、闘争行為等 ●旅行出発前に発病した病気（※）の治療費
●他覚症状のないむちうち症・腰痛 ●紛失、置き忘れの携行品損害
●妊娠・出産等、歯科疾病 ●現金・クレジットカード等、コンタクトレンズ、ウィンドサーフィン等の用具の携行品損害・生活用動産損害
…など

（各プランにセットされる補償項目とオプションについて）

補償項目		短期留学 プラン (5ページ)	長期旅行 プラン (6ページ)	留学生・ワーキングホリデープラン		海外駐在員プラン	
				宿泊施設 (ホームステイ・寮・ホテル) 滞在向けプラン (7～8ページ)	居住施設 (アパート・借家) 滞在向けプラン (7～8ページ)	駐在員 専用 プラン (9ページ)	駐在員 家族用 専用プラン (9ページ)
対 象 期 間		1日～31日 まで	32日～6か月 まで	32日～5年 まで	32日～5年 まで	1年間まで	1年間まで
CASE 1	傷 害 死 亡	○	○	○	○	○	○
	疾 病 死 亡	○	○	○	○	○	○
CASE 2	傷 害 後 遺 障 害	○	○	○	○	○	○
CASE 3	治 療 ・ 救 援 費 用	○	○	○	○	○	○
	疾病応急治療・救援費用	○					
CASE 4	入 院 一 時 金	○					
CASE 5	個 人 賠 償 責 任	○	○	○			
	個 人 賠 償 責 任 (長 期 契 約 用)				○		
	家 族 総 合 賠 償 責 任 被 害 者 治 療 費 用					○ ^(※1)	△ ^(※2)
CASE 6	携 行 品 損 害	○	○	○			
CASE 7	生 活 用 動 産 (長 期 契 約 用)				○	○	△ ^(※2)
CASE 8	旅行事故緊急費用	○					
	航空機寄託手荷物遅延		○	○			
	航 空 機 遅 延 費 用		○	○			
CASE 9	旅 行 変 更 費 用	オプション	オプション ^(※3)				
CASE 10	緊 急 一 時 帰 国 費 用			オプション ^(※4)	オプション ^(※4)		
CASE 11	留 学 継 続 費 用			オプション	オプション		
CASE 12	代 替 要 員 派 遣 費 用					オプション	

(※1) 自動車賠償責任に関する補償は駐在員専用プランの選択になります。
(※2) 駐在員本人が駐在員専用プランをご契約の場合、駐在員本人の補償に含まれます。
(※3) 保険期間が3か月以内に限ります。
(※4) 保険期間が3か月以上で、海外渡航中の住宅が特定できる場合に限ります。

短期留学プラン（1日～31日まで）

「短期留学プラン」は、保険期間（旅行期間）が31日以内の「留学」を旅行目的とする短期留学生向けのプランです。

⚠重要

タイプのご選択・ご契約にあたって

①保険始期日（旅行出発日）時点で18歳以上の方は、ご旅行に行かれる方ご自身がご契約者（お申込人）としてご契約いただくことをお勧めいたします。

②被保険者（旅行者）が以下に該当する場合は、ご契約いただける傷害死亡・疾病死亡保険金額は他の傷害保険契約（他の傷害保険の詳細は申込書にてご確認ください）等との合算でそれぞれ3,000万円（被保険者本人の旅行目的が留学の場合）までとなります。

- 保険始期日（旅行出発日）時点で15歳未満の場合。
- 保険始期日（旅行出発日）時点で15歳以上の方で、申込書に被保険者の同意署名がない場合（ご契約者と被保険者が異なる契約）。

③ご帰国が31日間を超えることが予想される方や2名以上の被保険者（旅行者）について1枚の申込書でご契約をご希望の方は当プランのご利用はできませんのでお申出ください。

④ご希望のご契約タイプを選び、申込書のご契約タイプ欄にご記入ください。保険期間（旅行期間）は旅行出発日を含めて数えます。「8月3日～8月10日」までの保険期間は、「8日」となります。他のご契約タイプをご希望の方はお申出ください。

⑤ご契約にあたっては「ご契約いただく海外旅行保険の概要」をご覧ください。

短期留学プランご契約タイプ一覧表

ご契約タイプ		107	108	109
保険金額（ご契約金額）	傷 害 死 亡	7,000 万円	5,000 万円	3,000 万円
	傷 害 後 遺 障 害	7,000 万円	5,000 万円	3,000 万円
	疾 病 死 亡	1,000 万円	1,000 万円	1,000 万円
	治 療 ・ 救 援 費 用	無 制 限※1	無 制 限※1	無 制 限※1
	疾病応急治療・救援費用	300 万円	300 万円	300 万円
	入 院 一 時 金	5 万円	5 万円	5 万円
	個 人 賠 償 責 任	1 億円	1 億円	1 億円
	携 行 品 損 害	55 万円	40 万円	35 万円
	旅 行 事 故 緊 急 費 用	5 万円	5 万円	5 万円
保険期間（保険のご契約期間）／合計保険料	1 日	5,350 円	4,380 円	3,610 円
	2 日	6,230 円	5,190 円	4,360 円
	3 日	7,100 円	5,990 円	5,140 円
	4 日	7,980 円	6,760 円	5,860 円
	5 日	9,060 円	7,700 円	6,750 円
	6 日	10,240 円	8,690 円	7,640 円
	7 日	11,200 円	9,520 円	8,400 円
	8 日	11,940 円	10,180 円	9,030 円
	9 日	12,700 円	10,840 円	9,640 円
	10 日	13,470 円	11,510 円	10,270 円
	11 日	14,300 円	12,220 円	10,920 円
	12 日	15,060 円	12,880 円	11,530 円
	13 日	15,950 円	13,660 円	12,240 円
	14 日	16,650 円	14,270 円	12,810 円
	15 日	17,330 円	14,860 円	13,350 円
	17 日まで	18,290 円	15,710 円	14,150 円
	19 日まで	19,880 円	17,070 円	15,380 円
	21 日まで	21,250 円	18,250 円	16,470 円
	23 日まで	22,140 円	18,980 円	17,100 円
	25 日まで	23,020 円	19,690 円	17,700 円
	27 日まで	23,950 円	20,410 円	18,310 円
	29 日まで	24,950 円	21,230 円	19,020 円
	31 日まで	25,840 円	21,980 円	19,680 円

※1 無制限：旅行中のケガや旅行中にかかった病気により要する治療費用や救援費用が保険金のお支払いの対象となる場合に、保険金額（支払限度額）を無制限とすることです。治療・救援費用を終身補償することではありません。また、ケガの場合は事故の発生の日から、病気の場合は医師の治療開始日からその日を含めて180日以内の治療費用がお支払いの対象になります。お支払項目によっては、救援者の人数など限度を有するものがあります。

■ご注意

1.ご契約タイプには、「救援に関する通訳雇入費用補償特約」「救援者費用等追加補償特約（保険金額300万円）」「妊娠初期の症状に対する保険金支払責任の変更にに関する特約」「携行品損害追加補償特約」がセットされております。

2.携行品損害の対象となるのは、被保険者（旅行者）が所有（旅行行程開始前に被保険者がその旅行のために賃貸業者以外の他人から無償で借りたものを含む）かつ携行する身の回り品になります。（例えば、お子様のみの契約で同行のご両親の携行品損害は補償されませんのでご注意ください。）

3.「個人賠償責任」「携行品損害」の自己負担額は0円です。

4.左記掲載の全契約タイプは、お支払い項目によってはご契約タイプに記載した保険金額とは異なる限度を有するものがあります。

▼この特約は保険期間（旅行期間）が3か月以内の場合に加入できます。

オプション

旅行変更費用補償特約

追加保険料をお支払いいただくことにより、セットできます。

出国中止費用補償

旅行変更費用補償特約は、渡航先に地震が発生した等の理由により旅行を途中で取りやめて帰国する際の交通費 などをお支払いします。出国前に旅行を取消したときの取消費用などはお支払いの対象となりません。（出国中止費用補償対象外特約がセットされております。）

保険期間（保険のご契約期間）	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	17日まで	19日まで	21日まで	23日まで	25日まで	27日まで	29日まで	31日まで	34日まで	39日まで	46日まで	53日まで	2か月まで	3か月まで	
保険金額（ご契約金額） 保険料	10万円	40 円	50 円	50 円	50 円	70 円	80 円	90 円	90 円	100 円	110 円	120 円	130 円	140 円	140 円	150 円	160 円	170 円	190 円	200 円	210 円	230 円	240 円	260 円	280 円	310 円	350 円	390 円	440 円	590 円
	20万円	90 円	100 円	100 円	110 円	130 円	160 円	170 円	210 円	220 円	240 円	260 円	280 円	290 円	300 円	320 円	340 円	370 円	400 円	430 円	460 円	490 円	520 円	630 円	700 円	780 円	870 円	1,180 円		
	30万円	130 円	150 円	160 円	200 円	230 円	260 円	280 円	310 円	340 円	360 円	390 円	410 円	430 円	450 円	480 円	510 円	560 円	600 円	640 円	680 円	730 円	780 円	830 円	940 円	1,060 円	1,160 円	1,310 円	1,770 円	
	40万円	180 円	200 円	210 円	210 円	270 円	310 円	340 円	380 円	420 円	450 円	480 円	520 円	550 円	580 円	600 円	630 円	690 円	750 円	800 円	850 円	910 円	970 円	1,040 円	1,110 円	1,260 円	1,410 円	1,550 円	1,750 円	2,360 円

ご注意

1.保険金額は、旅行代金または途中で帰国する際にかかる費用のいずれか高い金額で選びください。2.中途帰国のための費用は旅行方面により次の金額が目安となります。東南アジア・ハワイ：10万円、北米・オセアニア・アフリカ：20万円、ヨーロッパ・南米：30万円3.出国中止費用

長期旅行プラン（32日～6か月まで）

「長期旅行プラン」は、保険期間（旅行期間）32日以上長期旅行者向けのプランです。
※旅行目的が観光・海外ウエディング・商用の保険期間は6か月までです。

⚠重要

タイプのご選択・ご契約にあたって

①保険始期日（旅行出発日）時点で18歳以上の方は、ご旅行に行かれる方ご自身がご契約者（お申込人）としてご契約いただくことをお勧めいたします。

②被保険者（旅行者）が以下に該当する場合は、ご契約いただける傷害死亡・疾病死亡保険金額は他の傷害保険契約（他の傷害保険の詳細は申込書にてご確認ください）等との合算でそれぞれ1,000万円（被保険者本人の旅行目的が留学の場合は3,000万円）までとなります。

- 保険始期日（旅行出発日）時点で15歳未満の場合。
- 保険始期日（旅行出発日）時点で15歳以上の方で、申込書に被保険者の同意署名がない場合（ご契約者と被保険者が異なる契約）。

③保険始期日（旅行出発日）時点で75歳以上の方は、傷害死亡1,000万円、傷害後遺障害1,000万円、疾病死亡500万円が上限となります。該当される方は別途お申出ください。

④2名以上の被保険者（旅行者）について1枚の申込書でご契約をご希望の方は当プランのご利用はできませんのでお申出ください。

⑤ご希望のご契約タイプを選び、申込書のご契約タイプ欄にご記入ください。保険期間（旅行期間）は旅行出発日を含めて数えます。「8月3日～11月2日」までの保険期間は「3か月まで」、「8月3日～11月3日」までの保険期間は「4か月まで」となります。他のご契約タイプをご希望の方や、掲載のない期間の保険料についてはお申出ください。

⑥ご契約にあたっては「ご契約いただく海外旅行保険の概要」をご覧ください。

長期旅行プランご契約タイプ一覧表

ご契約タイプ		197	198	199	200
保険金額（ご契約金額）	傷 害 死 亡	7,000 万円	5,000 万円	3,000 万円	1,000 万円
	傷 害 後 遺 障 害	7,000 万円	5,000 万円	3,000 万円	1,000 万円
	疾 病 死 亡	1,000 万円	1,000 万円	1,000 万円	1,000 万円
	治 療 ・ 救 援 費 用	無 制 限※1	無 制 限※1	無 制 限※1	無 制 限※1
	個 人 賠 償 責 任	1 億円	1 億円	1 億円	1 億円
	携 行 品 損 害	60 万円	50 万円	40 万円	30 万円
	航 空 機 寄 託 手 荷 物 遅 延	10 万円	10 万円	10 万円	10 万円
	航 空 機 遅 延 費 用	2 万円	2 万円	2 万円	2 万円
保険期間（保険のご契約期間）／合計保険料	32日～34日	25,270 円	22,070 円	18,860 円	15,660 円
	39日まで	28,390 円	24,940 円	21,480 円	18,030 円
	46日まで	32,180 円	28,470 円	24,770 円	21,060 円
	53日まで	36,730 円	32,680 円	28,640 円	24,590 円
	2か月まで	42,250 円	37,790 円	33,320 円	28,860 円
	3か月まで	56,230 円	50,600 円	44,980 円	39,360 円
	4か月まで	78,030 円	70,610 円	63,190 円	55,780 円
	5か月まで	99,490 円	90,300 円	81,110 円	71,920 円
	6か月まで	120,860 円	109,870 円	98,890 円	87,900 円

※1 無制限：旅行中のケガや旅行中にかかった病気により要する治療費用や救援費用が保険金のお支払いの対象となる場合に、保険金額（支払限度額）を無制限とすることです。治療・救援費用を終身補償することではありません。また、ケガの場合は事故の発生の日から、病気の場合は医師の治療開始日からその日を含めて180日以内の治療費用がお支払いの対象になります。お支払項目によっては、救援者の人数など限度を有するものがあります。

■ご注意

1.ご契約タイプには「救援に関する通訳雇入費用補償特約」「救援者費用等追加補償特約（保険金額300万円）」「携行品損害追加補償特約」がセットされております。

2.携行品損害の対象となるのは、被保険者（旅行者）が所有（旅行行程開始前に被保険者がその旅行のために賃貸業者以外の他人から無償で借りたものを含む）かつ携行する身の回り品になります。（例えば、お子様のみの契約で同行のご両親の携行品損害は補償されませんのでご注意ください。）

3.「個人賠償責任」「携行品損害」の自己負担額は0円です。

4.上記掲載の全契約タイプは、お支払い項目によってはご契約タイプに記載した保険金額とは異なる限度を有するものがあります。

5

6

留学生・ワーキングホリデープラン(32日～5年まで)

「留学生・ワーキングホリデープラン」は、保険期間(旅行期間)が32日以上「留学やワーキングホリデー」を旅行目的とするプランです。

⚠ 重要

タイプのご選択・ご契約にあたって

①保険始期日(旅行出発日)時点で18歳以上の方は、ご旅行に行かれる方で自身がご契約者(お申込人)としてご契約いただくことをお勧めいたします。

②被保険者(旅行者)が以下に該当する場合は、ご契約いただける傷害死亡・疾病死亡保険金額は他の傷害保険契約(他の傷害保険の詳細は申込書にてご確認ください)等との合算でそれぞれ3,000万円(被保険者本人の旅行目的が留学かワーキングホリデーの場合)までとなります。

●保険始期日(旅行出発日)時点で15歳未満の場合。

●保険始期日(旅行出発日)時点で15歳以上の方で、申込書に被保険者の同意署名がない場合(ご契約者と被保険者が異なる契約)。

③保険始期日(旅行出発日)時点で75歳以上の方は、傷害死亡1,000万円、傷害後遺障害1,000万円、疾病死亡500万円が上限となります。該当される方は別途お申出ください。

④ご希望のご契約タイプを選び、申込書のご契約タイプ欄にご記入ください。保険期間(旅行期間)は旅行出発日を含めて数えます。「8月3日～11月2日」までの保険期間は「3か月まで」、「8月3日～11月3日」までの保険期間は「4か月まで」となります。他のご契約タイプをご希望の方はお申出ください。

⑤ご契約にあたっては「ご契約いただく海外旅行保険の概要」をご覧ください。

留学生・ワーキングホリデープランご契約タイプ一覧表

		宿泊施設(ホームステイ・寮・ホテル) 滞在向けプラン				
ご契約タイプ		196	197	198 おすすめ	199	200
保険金額(ご契約金額)	傷 害 死 亡	1 億円	7,000 万円	5,000 万円	3,000 万円	1,000 万円
	傷 害 後 遺 障 害	1 億円	7,000 万円	5,000 万円	3,000 万円	1,000 万円
	疾 病 死 亡	1,000 万円	1,000 万円	1,000 万円	1,000 万円	1,000 万円
	治 療 ・ 救 援 費 用	無 制 限 ※1	無 制 限 ※1	無 制 限 ※1	無 制 限 ※1	無 制 限 ※1
	個 人 賠 償 責 任	1 億円	1 億円	1 億円	1 億円	1 億円
	携 行 品 損 害	70 万円	60 万円	50 万円	40 万円	30 万円
	航 空 機 寄 託 手 荷 物 遅 延	10 万円	10 万円	10 万円	10 万円	10 万円
	航 空 機 遅 延 費 用	2 万円	2 万円	2 万円	2 万円	2 万円
保険期間(保険のご契約期間)／合計保険料	32日～34日	29,250 円	25,270 円	22,070 円	18,860 円	15,660 円
	39日まで	32,700 円	28,390 円	24,940 円	21,480 円	18,030 円
	46日まで	36,860 円	32,180 円	28,470 円	24,770 円	21,060 円
	53日まで	41,900 円	36,730 円	32,680 円	28,640 円	24,590 円
	2か月まで	48,000 円	42,250 円	37,790 円	33,320 円	28,860 円
	3か月まで	63,580 円	56,230 円	50,600 円	44,980 円	39,360 円
	4か月まで	87,840 円	78,030 円	70,610 円	63,190 円	55,780 円
	5か月まで	111,720 円	99,490 円	90,300 円	81,110 円	71,920 円
	6か月まで	135,540 円	120,860 円	109,870 円	98,890 円	87,900 円
	7か月まで	159,680 円	142,500 円	129,680 円	116,870 円	104,050 円
	8か月まで	183,640 円	164,030 円	149,430 円	134,830 円	120,230 円
	9か月まで	208,450 円	186,280 円	169,820 円	153,360 円	136,900 円
	10か月まで	232,920 円	208,220 円	189,910 円	171,590 円	153,270 円
	11か月まで	256,320 円	229,230 円	209,160 円	189,080 円	169,010 円
	1年まで	280,700 円	251,110 円	229,200 円	207,290 円	185,390 円
	2年	561,400 円	502,210 円	458,400 円	414,590 円	370,780 円
	3年	842,110 円	753,320 円	687,600 円	621,880 円	556,160 円
	4年	1,122,790 円	1,004,400 円	916,780 円	829,160 円	741,530 円
	5年	1,403,500 円	1,255,520 円	1,145,990 円	1,036,460 円	926,930 円

※1 無制限:旅行中のケガや旅行中にかかった病気により要する治療費用や救済費用が保険金のお支払いの対象となる場合に、保険金額(支払限度額)を無制限とすること。また、ケガの場合は事故の発生の日から、病気の場合は医師の治療開始日からその日を含めて180日以内の治療費用がお支払いの対象になります。お支払項目に

■ご注意 1.ご契約タイプには、「救済に関する通訳雇入費用補償特約」「救済者費用等追加補償特約(保険金額300万円)」「携行品損害追加補償特約」(196～200のみ)がセットされております。2.携行品損害の対象となるのは、被保険者(旅行者)が所有(旅行行程開始前に被保険者がその旅行のために賃貸業者以外の他人から無償で借りたものを含む)かつ携行する身の回り品になります。(例えば、お子様のみの契約で同行のご両親の携行品損害は補償されませんのでご注意ください。) 3.「個人賠償責任」・「携行品損害」・「個人賠償責任(長期契約用)」・「生活用動産(長期契約用)」の自己負担額は0円です。 4.上記掲載の全契約タイプは、お支払い項目によってはご契約タイプに記載した保険金額とは異なる限度を有するものがあります。

オプション

留学継続費用補償特約

追加保険料をお支払いいただくことにより、オプション[特約]をセットできます。

留学生の扶養者が事故により死亡または重度後遺障害となり、留学生が扶養者によって扶養されなくなった場合に、保険金額に残りの予定留学期間(端日数は日割)を乗じた額をお支払いします。

	留学継続費用補償特約	保険金額(ご契約金額)		
		120万円	150万円	200万円
保 険 料	1 年	530 円	660 円	880 円
	2 年	3,140 円	3,930 円	5,240 円
	3 年	7,850 円	9,810 円	13,080 円
	4 年	14,640 円	18,300 円	24,400 円
	5 年	23,520 円	29,400 円	39,200 円

■ご注意 留学にかかわる費用を扶養者が負担している場合にご利用いただけます。(留学費用負担のない場合にはご加入できません。)

「留学継続費用補償特約」は、ワーキングホリデーを旅行目的とする場合は、ご加入できません。

⚠ 重要

居住施設(アパート・借家)を利用される方、または渡航後、アパート・借家を利用される可能性のある方は、居住施設(アパート・借家)滞在向けプランをおすすめします。

宿泊施設(ホームステイ・寮・ホテル)滞在向けプランの携行品損害補償特約では、居住施設内(アパート・借家)にある場合の携行品損害はお支払い対象外になります。また家財道具等の生活用動産も携行品には該当しないため保険の対象に含まれません。個人賠償責任補償特約においては、戸室を賃借している場合の部屋に与えた損害賠償はお支払いの対象外になります。留学先で建物またはマンションの戸室を賃借して使用する場合、および生活用動産の補償を希望される場合は必ず居住施設(アパート・借家)滞在向けプランをお選びください。

居住施設(アパート・借家)で生活する場合



生活用動産(長期契約用)
滞在中のアパートやホテルで盗難・火災などにより家財・携行品に損害があった場合



個人賠償責任(長期契約用)
滞在先の部屋を水浸しにしてしまうなどして法律上の損害賠償責任を負った場合

		居住施設(アパート・借家) 滞在向けプラン				
ご契約タイプ		204	205	206 おすすめ	207	208
保険金額(ご契約金額)	傷 害 死 亡	1 億円	7,000 万円	5,000 万円	3,000 万円	1,000 万円
	傷 害 後 遺 障 害	1 億円	7,000 万円	5,000 万円	3,000 万円	1,000 万円
	疾 病 死 亡	1,000 万円	1,000 万円	1,000 万円	1,000 万円	1,000 万円
	治 療 ・ 救 援 費 用	無 制 限 ※1	無 制 限 ※1	無 制 限 ※1	無 制 限 ※1	無 制 限 ※1
	個人賠償責任(長期契約用)	5,000 万円	5,000 万円	5,000 万円	5,000 万円	5,000 万円
	生活用動産(長期契約用)	80 万円	70 万円	60 万円	50 万円	40 万円
	32日～34日	22,570 円	19,980 円	18,030 円	16,000 円	13,880 円
	39日まで	25,620 円	22,800 円	20,690 円	18,480 円	16,170 円
保険期間(保険のご契約期間)／合計保険料	46日まで	30,130 円	26,930 円	24,540 円	22,050 円	19,450 円
	53日まで	35,480 円	31,770 円	29,030 円	26,180 円	23,220 円
	2か月まで	41,450 円	37,230 円	34,130 円	30,910 円	27,560 円
	3か月まで	56,640 円	51,030 円	46,930 円	42,670 円	38,260 円
	4か月まで	79,400 円	71,710 円	66,140 円	60,390 円	54,450 円
	5か月まで	101,590 円	91,870 円	84,880 円	77,670 円	70,250 円
	6か月まで	123,650 円	111,870 円	103,440 円	94,760 円	85,830 円
	7か月まで	145,950 円	132,080 円	122,180 円	112,000 円	101,550 円
	8か月まで	168,110 円	152,210 円	140,880 円	129,250 円	117,320 円
	9か月まで	190,950 円	172,920 円	160,110 円	146,970 円	133,490 円
	10か月まで	213,540 円	193,390 円	179,100 円	164,440 円	149,410 円
	11か月まで	235,210 円	213,060 円	197,360 円	181,260 円	164,770 円
	1年まで	257,720 円	233,480 円	216,310 円	198,720 円	180,710 円
	2年	515,430 円	466,940 円	432,610 円	397,430 円	361,410 円
	3年	773,150 円	700,420 円	648,920 円	596,150 円	542,110 円
	4年	1,030,850 円	933,870 円	865,210 円	794,850 円	722,800 円
	5年	1,288,570 円	1,167,350 円	1,081,520 円	993,570 円	903,510 円

とです。治療・救済費用を終身補償することではありません。よっては、救済者の人数など限度を有するものがあります。

▼この特約は保険期間(旅行期間)が3か月以上の場合および海外渡航中の住宅が特定できる場合に加入できます。

オプション

緊急一時帰国費用補償特約

追加保険料をお支払いいただくことにより、オプション[特約]をセットできます。

日本にいるご家族の身に不幸があったため、急に帰国することになった場合。

	緊急一時帰国費用補償特約	保険金額(ご契約金額)		
		40万円	70万円	100万円
保 険 料	3か月	4,290 円	7,500 円	10,710 円
	4か月まで	5,240 円	9,170 円	13,090 円
	5か月まで	6,070 円	10,620 円	15,180 円
	6か月まで	6,900 円	12,080 円	17,260 円
	7か月まで	7,740 円	13,540 円	19,340 円
保 険 料	8か月まで	8,570 円	15,000 円	21,430 円
	9か月まで	9,400 円	16,460 円	23,510 円
	10か月まで	10,230 円	17,920 円	25,590 円
保 険 料	11か月まで	11,070 円	19,370 円	27,680 円
	1年まで	11,900 円	20,830 円	29,760 円
	2年	23,810 円	41,660 円	59,520 円
	3年	35,710 円	62,500 円	89,280 円
	4年	47,620 円	83,330 円	119,040 円
保 険 料	5年	59,520 円	104,160 円	148,800 円

8

海外駐在員プラン

「海外駐在員プラン」は被保険者（渡航者または、その家族）が駐在を旅行目的とし、企業・団体等を契約者とするプランです。

⚠ 重要

タイプのご選択・ご契約にあたって

①ご契約者（お申込人）は被保険者を駐在として派遣する企業・団体等となります。個人でお申込みをご希望の場合は、別途お申出ください。

②傷害死亡保険金額が3,000万円を超えるタイプをご希望の場合、被保険者（旅行者）による同意署名が必要となります。

③保険期間が1年間の保険料をご案内しております。保険期間が1年を超える場合は、別途お申出ください。

④ご希望のご契約タイプを選び、申込書のご契約タイプ欄にご記入ください。他のご契約タイプをご希望の方はお申出ください。

保険期間（旅行期間）は旅行出発日を含めて数えます。例：「2010年8月3日～2011年8月2日」の場合は、1年と1日（日割）の保険料となります。

⑤ご契約にあたっては「ご契約いただく海外旅行保険の概要」をご覧ください。

駐在員専用プランご契約タイプ一覧表

表中の「合計保険料」下段の保険料は自動車賠償責任に関する補償をセツトしない場合の保険料です。（海外で自動車を運転され、現地の自動車保険では支払いきれない場合の上乗せ補償を希望される場合には上段をお勧めします。）

ご契約タイプ		189	190	191	192
（ご契約金額） 保険金額	傷 害 死 亡	7,000 万円	5,000 万円	3,000 万円	2,000 万円
	傷 害 後 遺 障 害	7,000 万円	5,000 万円	3,000 万円	2,000 万円
	疾 病 死 亡	1,000 万円	1,000 万円	1,000 万円	1,000 万円
	治 療 ・ 救 援 費 用	3,000 万円	2,500 万円	2,000 万円	1,800 万円
	家族総合賠償責任	1 億円	1 億円	1 億円	1 億円
	被害者治療費用	20 万円	20 万円	20 万円	20 万円
ご契約期間（保険の 合計保険料／ ご契約期間）1年間	生活用動産（長期契約用）	300 万円	300 万円	300 万円	300 万円
	北 米	278,760円	261,870円	244,990円	236,540円
		259,050円	242,160円	225,280円	216,830円
	オセアニア ヨーロッパ	267,960円	251,070円	234,190円	225,740円
		258,090円	241,200円	224,320円	215,870円
	アジア 中近東・中南米	262,080円	245,190円	228,310円	219,860円
		257,130円	240,240円	223,360円	214,910円

駐在員家族用専用プランご契約タイプ一覧表

ご家族用（1名につき）				
ご契約タイプ		193	194	195
（ご契約金額） 保険金額	傷 害 死 亡	3,000 万円	2,000 万円	1,000 万円
	傷 害 後 遺 障 害	3,000 万円	2,000 万円	1,000 万円
	疾 病 死 亡	1,000 万円	1,000 万円	1,000 万円
	治 療 ・ 救 援 費 用	2,000 万円	1,800 万円	1,500 万円
合計保険料／保険期間 （保険のご契約期間）1年間		148,400円	139,950円	130,750円

オプション

代替要員派遣費用補償特約

追加保険料をお支払いいただくことにより、オプション[特約]をセツトできます。

海外渡航中にケガ・病気による死亡または、3日以上入院をされた場合、会社（雇用主）が代わりの駐在員を派遣するための費用をお支払いします。なお、代替要員派遣費用補償特約は、契約者が会社（雇用主）の場合にご利用いただけます。

■ご注意

1.ご契約タイプには、「救援に関する通訳雇入費用補償特約」「救援者費用等追加補償特約（保険金額300万円）」「賠償責任・生活用動産の家族補償特約（長期契約用）（除く駐在員家族専用プラン）」がセツトされております。

2.「生活用動産（長期契約用）」の自己負担額は0円です。家族総合賠償責任の自己負担額は0円ですが、自動車損害賠償責任については「ご契約いただく海外旅行保険の概要」に記載（P.11参照）のとおりとなります。

ご契約いただく海外旅行保険の概要

●被保険者とは保険の対象となる方をいいます。

補 償 項 目	保険金をお支払いする場合	お支払いする保険金	保険金をお支払いできない主な場合
傷 害 死 亡	責任期間*中の事故によるケガ*が原因で事故の発生の日からその日を含めて 180日以内 に死亡された場合	傷害死亡保険金額の全額を死亡保険金受取人(指定のない場合は、被保険者の法定相続人)にお支払いします。 [注] 同一のケガにより、傷害後遺障害保険金をお支払いしている場合には、傷害死亡保険金額から既にお支払いした傷害後遺障害保険金を控除した残額となります。	<「傷害死亡」「傷害後遺障害」共通> 1.次の①～⑨のいずれかによって生じたケガ ①保険契約者、被保険者や保険金受取人の故意または重大な過失 ②けんかや自殺、犯罪行為 ③被保険者による自動車、オートバイの無資格運転、酒酔運転、麻薬などを使用しての運転 ④脳疾患、疾病、心神喪失 ⑤妊娠、出産、早産、流産 ⑥外科的手術（事故による傷害の治療を除きます。） ⑦戦争、革命などの事変 ⑧核燃料物質による事故または放射能汚染 ⑨自動車、オートバイ、モーターボート等による競技、競争、興行、試運転 2.原因がいかなくとも、むちうち症または腰痛などで医学的他覚所見（検査等によって認められる異常所見）のないもの など
傷 後 遺 障 害	責任期間*中の事故によるケガ*が原因で事故の発生の日からその日を含めて 180日以内 に身体に後遺障害が生じた場合	後遺障害の程度に応じて、傷害後遺障害保険金額の3%～ 100%をお支払いします。ただし、傷害後遺障害保険金額をもって保険期間中の支払いの限度とします。	
治 療 ・ 救 援 費	<傷害治療費用> 責任期間*中の事故によるケガ*が原因で医師の治療を受けられた場合（義手、義足の修理を含みます。） <疾病治療費用> ①「 責任期間*中に発病した病気 」または「 責任期間*終了後72時間以内に発病した病気（その原因が責任期間*中に発生したものに限ります。） 」により、 責任期間*終了後72時間を経過するまでに医師の治療を開始された場合 ②責任期間*中に感染した特定の感染症*により責任期間*終了後その日を含めて30日を経過するまでに医師の治療を開始された場合 <救援費用> 被保険者が次の①～⑥までのいずれかに該当した場合 ①責任期間*中の事故によるケガ*または自殺行為がもとで、事故の発生の日からその日を含めて180日以内に死亡された場合、または3日以上続けて入院された場合 ②責任期間*中に病気、妊娠、出産、早産、流産により死亡された場合 ③責任期間*中に発病した病気により、責任期間*終了日からその日を含めて30日以内に死亡された場合、または3日以上続けて入院された場合（責任期間*中に医師の治療を開始した場合に限りします。） ④責任期間*中に搭乗・乗船中の航空機・船舶が行方不明もしくは遭難した場合または山岳登山中に遭難した場合 ⑤責任期間*中の急激かつ偶然な外来の事故により被保険者の生死が確認できない場合または緊急な搜索・救助活動が必要な状態となったことが警察等公的機関により確認された場合 [注] 被保険者の生死の判明後または緊急な搜索・救助活動の終了後に現地に赴く救援者にかかる費用は対象外です。 ⑥責任期間*中に誘拐された、または行方不明になったことを警察等公的機関に届出された場合	お支払いする保険金は1回のケガ、病気、事故などにつき、治療・救援費用保険金額を限度とします。 <傷害・疾病治療費用> 被保険者が支出した費用で、社会通念上妥当な次の金額をお支払いします（ケガの場合は事故の発生日、病気の場合は治療開始日からその日を含めて180日以内に要した費用に限りします。）。 ①診療費・入院費関係（入院による治療を要するにもかかわらず病院が利用できない場合や医師の治療を受け医師の指示により宿泊施設で静養した場合の宿泊施設客室料、病院への緊急移送費等の費用を含みます。）、入院・通院のための交通費および治療のために必要な通訳雇入費。 ②保険金請求のために必要な医師の診断書の費用。 ③法令に基づき、公的機関より病原体に汚染された場所の消毒を命じられた場合の消毒費用。 ④入院により必要となった被保険者の通信費および身の回り品購入費（身の回り品購入費は5万円、通信費と合算で20万円を1回のケガ、病気の限度とします。） ⑤医師の治療を受けたのち、当初の旅行行程に復帰または直接帰国するための被保険者の交通費・宿泊費（払戻しを受けた金額または負担することを予定していた金額がある場合は、その額を控除します。） [注1] 日本国内で治療を受け、健康保険、労災保険等から支払いがなされ、被保険者が支払わなくてもよい部分、また、海外においても同様の制度がある場合、その制度により被保険者が診療機関に支払うことが必要とされない部分はお支払いできません。 [注2] カイロプラクティック、鍼（はり）または灸（きゅう）による治療のために支出した費用についてはお支払いできません。 <救援費用> 保険契約者、被保険者または被保険者の親族が支出した費用で社会通念上妥当な次の費用をお支払いします。「保険金をお支払いする場合」の⑥は300万円上限） ①搜索救助費用 ②救援者の現地までの航空機等の往復運賃（救援者3名分まで） ③救援者の現地および現地までの行程における宿泊施設客室料（救援者3名分かつ1名につき14日分まで） ④治療を継続中の被保険者の現地からの移送費用（払戻しを受けた金額、負担することを予定していた金額、傷害・疾病治療費用部分で支払われるべき金額は控除します。） ⑤遺体の処理費用（100万円まで）、遺体輸送費用 ⑥救援者の渡航手続費、救援者または被保険者の現地交通費・通信費、入院または救援に必要な身の回り品購入費、救援に必要な通訳雇入費（合計20万円まで、傷害・疾病治療費用の④で支払われる費用は除きます。）	<傷害治療費用> 上記「傷害死亡」の保険金をお支払いできない主な場合1.の①～⑨および2.に該当する場合に同じ <疾病治療費用> 上記「傷害死亡」の保険金をお支払いできない主な場合1.の①、②、⑦、⑧により発病した病気および2.に該当する場合に加え、 ・妊娠、出産、早産、流産による病気（保険期間が31日までの契約（保険期間が延長された場合は31日目まで）に限り、妊娠初期の異常（妊娠満22週以後の発生は除く）により医師の治療を開始した場合については保険金をお支払いします。） ・歯科疾病 [注] 旅行出発前に発病した病気による疾病治療費用のお支払いはできません。 <救援費用> 上記「傷害死亡」の保険金をお支払いできない主な場合1.の①*1、②*1、③*2、⑦、⑧により生じた事故および2.に該当する場合に加え、以下の事由により上記保険金をお支払いする場合③の入院された場合 ・妊娠、出産、早産、流産による病気（保険期間が31日までの契約（保険期間が延長された場合は31日目まで）に限り、妊娠初期の異常（妊娠満22週以後の発生は除く）により医師の治療を開始した場合については保険金をお支払いします。） ・歯科疾病 ※1.自殺行為によりその行為の日からその日を含め180日以内に死亡された場合は救援費用部分の保険金をお支払いします。 ※2.被保険者による自動車、オートバイの無資格運転、酒酔運転により事故の発生の日からその日を含めて180日以内に死亡された場合は救援費用部分の保険金をお支払いします。 [注] 旅行出発前に発病した病気により入院した場合は、救援費用のお支払いはできません。 など
疾 病 に 関 する 応 急 治 療 ・ 救 援 費	<治療費用> 責任期間*開始前に発病し医師の治療を受けたことがある病気（※1）が原因で海外旅行中にその症状の 急激な悪化（※2） により医師の治療を受けられた場合 <救援費用> 責任期間*開始前に発病し医師の治療を受けたことがある病気（※1）が原因で海外旅行中にその症状の 急激な悪化（※2） により3日以上続けて入院された場合 （※1）妊娠、出産、早産、流産に起因する病気および歯科疾病は含みません。 （※2） 海外旅行中に生じることについて被保険者があらかじめ予測できず、かつ、社会通念上払うべき注意をもってしても避けられない症状の変化をいいます。	上記「治療・救援費用」のお支払いする保険金のうち、症状が急激に悪化した病気1回につき、医師の治療を開始した日からその日を含めて30日以内で、かつ、被保険者が住居（被保険者が入院した最終目的国の病院または診療所を含みます。）に帰着するまでに要した費用であり、社会通念上妥当かつ、同等の病気に対して通常負担する費用に相当する金額を300万円限度にお支払いします。	上記「治療・救援費用」の保険金をお支払いできない主な場合<疾病治療費用>および<救援費用>に該当する場合に加え、 ・その病気の治療の開始が責任期間*終了後である場合 ・ その病気の治療または症状の緩和を目的とする旅行の場合 ・責任期間*開始前に、渡航先の病院・診療所で医師の治療を受けることが決定していた場合（診察の予約または入院の手配等が行われていた場合を含みます。） ・ 責任期間*中も継続して支出することが予定されていた費用。 （例えば、透析、義手義足等、人工心臓弁、ペースメーカー、人工肛門、車椅子その他器具の継続使用に関わる費用やインスリン注射その他薬剤の継続使用に関わる費用など） など

ご契約いただく海外旅行保険の概要

ご契約いただくタイプによっては、セッされていない補償項目がありますのでご注意ください。
ご契約に際しては、重要事項説明書、個人情報取扱説明書、ご契約内容確認事項を必ずご覧ください。

補 償 項 目	保険金をお支払いする場合	お支払いする保険金	保険金をお支払いできない主な場合							
疾 病 死 亡	次のいずれかに該当した場合は、疾病死亡保険金額の全額を死亡保険金受取人(指定のない場合は、被保険者の法定相続人)にお支払いします ①責任期間*中に病気により死亡された場合 ②「 責任期間*中に発病した病気 」または「 責任期間*終了後72時間以内に発病した病気 (その原因が責任期間*中に発生したものに限ります。) 」により、責任期間*終了後その日を含めて30日以内に死亡された場合 (ただし、責任期間*終了後72時間を経過するまでに医師の治療を開始しその後も引き続き医師の治療を受けていたものに限ります。) ③責任期間*中に感染した特定の感染症*により責任期間*終了後その日を含めて30日以内に死亡された場合		前記「傷害死亡」の保険金をお支払いできない主な場合1.の①、②、⑦、⑧により発病した病気に加え、 ・被保険者が被ったケガによる病気 ・妊娠、出産、早産、流産による病気 ・歯科疾病 など							
入 院 一 時 金	治療・救済費用保険金が支払われる場合で、その原因となったケガ、病気により被保険者が 2日以上続けて入院 したときに、入院一時金額をお支払いします。1回のケガ、病気につきお支払いは1回に限りします。									
個 人 賠 償 任	責任期間*中に偶然な事故によって他人にケガをさせたり、他人のものを壊したり、紛失したことにより損害を与え、法律上の損害賠償責任を負った場合 注 被保険者が責任無能力者の場合で、その責任無能力者の行為により親権者等が法律上の損害賠償責任を負った場合もお支払いの対象となります。	1回の事故につき、個人賠償責任保険金額を限度として、損害賠償金をお支払いします。また、損害防止費用、緊急措置費用、訴訟費用、弁護士報酬費用、仲裁・和解・調停費用もお支払いできことがあります。 注 賠償金額の決定には、事前に弊社の承認を必要とします。	前記「傷害死亡」の保険金をお支払いできない主な場合1.の⑦、⑧により生じた損害に加え、 ・保険契約者または被保険者の故意によって生じた損害 ・被保険者の職務遂行に起因する損害賠償責任 ・被保険者と同居する親族および同一旅行行程の親族に対する損害賠償責任 ・被保険者が所有、使用または管理する財物の損壊もしくは紛失に対する損害賠償責任 (※) ・被保険者の心神喪失に起因する損害賠償責任 ・被保険者または被保険者の指図による暴行・殴打に起因する損害賠償責任 ・自動車、オートバイ等の車両、船舶、航空機、銃器の所有、使用、管理に起因する損害賠償責任 ・罰金、違約金、懲罰的賠償金 など							
	(※) 次のものに対する損害賠償責任に対しては右記保険金をお支払いできない主な場合の「被保険者が所有、使用または管理する財物の損壊もしくは紛失に対する損害賠償責任」の記載に関わらず保険金をお支払いいたします。 ・ 宿泊施設の客室、宿泊施設の客室内の動産 (客室外のセーフティボックスおよび客室のキーを含みます。) ・ 居住施設内の部屋、部屋内の動産 (戸室全体を賃借している場合を除きます。) ・ 賃貸業者より保険契約者または被保険者が直接借り入れた旅行用品、生活用品									
個 人 賠 償 任 (長期契約用)	保険期間中に被保険者ご本人が次の偶然な事故により他人にケガをさせたり、他人のものを壊したり、紛失したことにより損害を与え、法律上の損害賠償責任を負った場合 ・被保険者の旅行のための宿泊施設、居住施設の所有、使用または管理に起因する偶然な事故 ・日常生活に起因する偶然な事故 注 被保険者が責任無能力者の場合で、その責任無能力者の行為により親権者等が法律上の損害賠償責任を負ったときもお支払いの対象となります。	1回の事故につき、個人賠償責任 (長期契約用) 保険金額を限度として、損害賠償金をお支払いします。また、損害防止費用、緊急措置費用、訴訟費用、弁護士報酬費用、仲裁・和解・調停費用もお支払いできことがあります。 注 賠償金額の決定には、事前に弊社の承認を必要とします。	前記「傷害死亡」の保険金をお支払いできない主な場合1.の⑦、⑧により生じた損害に加え、 ・保険契約者または被保険者の故意によって生じた損害 ・被保険者の職務遂行 (アルバイトを含みます。)に起因する損害賠償責任 ・被保険者の使用人 (家事使用人は除きます。)が被保険者の業務に従事中に被った身体障害に起因する損害賠償責任 ・被保険者の親族に対する損害賠償責任 ・被保険者が所有、使用または管理する財物の損壊もしくは紛失に対する損害賠償責任 (※) ・被保険者の心神喪失に起因する損害賠償責任 ・被保険者または被保険者の指図による暴行・殴打に起因する損害賠償責任 ・自動車、オートバイ等の車両、船舶、航空機、銃器の所有、使用、管理に起因する損害賠償責任 ・罰金、違約金、懲罰的賠償金 など							
	(※) 次の損害に対する損害賠償責任に対しては右記保険金をお支払いできない主な場合の「被保険者が所有、使用または管理する財物の損壊もしくは紛失に対する損害賠償責任」の記載に関わらず保険金をお支払いいたします。 ・ 宿泊施設の客室、宿泊施設の客室内の動産 (客室外のセーフティボックスおよび客室のキーを含みます。) について生じた損害 ・ 居住施設内の部屋に与えた損害 (ただし、建物・マンションの戸室全体を賃借している場合は、火災、爆発、破裂および漏水、放水、溢水 (いっすい) による水濡れによる損害に限りします。) ・ 宿泊施設の客室以外および居住施設内の部屋以外に与えた損害については、火災、火災、爆発、破裂および漏水、放水、溢水 (いっすい) による水濡れによる損害に限りします。 ・ 賃貸業者より保険契約者または被保険者が直接借り入れた旅行用品、生活用動産について生じた損害									
家 族 総 合 任 賠 償 責 任	保険期間中に被保険者ご本人およびそのご家族 ^(※1) が次の偶然な事故により他人にケガをさせたり、他人のもの ^(※2) を壊したり、紛失したことにより損害を与え、法律上の損害賠償責任を負った場合 ・あらかじめ指定した地域における、被保険者の居住のための住宅の所有、使用または管理に起因する偶然な事故 ・日常生活に起因する偶然な事故 注 自動車または車両の所有、使用、管理に起因する損害については、右記 注1 の自己負担額を超えた場合に限りします (自動車賠償責任危険補償対象外特約セットの場合は支払対象外となります。)。	1回の事故につき、家族総合賠償責任保険金額を限度として、損害賠償金をお支払いします。ただし、住宅内で一時的に預かったものに与えた損害については10万円を限度とします。また、損害防止費用、緊急措置費用、訴訟費用、弁護士報酬費用、仲裁・和解・調停費用もお支払いできことがあります。 注 自動車事故については、次表の金額または現地の自動車保険で支払われる金額のいずれか高い額を超えた部分の損害賠償金がお支払いの対象となります。	前記「傷害死亡」の保険金をお支払いできない主な場合1.の⑦、⑧により生じた損害に加え、 ・保険契約者または被保険者の故意によって生じた損害 ・被保険者の職務遂行に起因する損害賠償責任 ・被保険者の使用人が被保険者の業務に従事中に被った身体障害 (家事使用人については病気に限りします。)に起因する損害賠償責任 ・被保険者と同居する親族に対する損害賠償責任 ・被保険者が所有、使用または管理する財物の損壊もしくは紛失に対する損害賠償責任 (※2) ・被保険者の心神喪失に起因する損害賠償責任 ・被保険者または被保険者の指図による暴行・殴打に起因する損害賠償責任 ・船舶、航空機の所有、使用、管理に起因する損害賠償責任 ・自動車または車両による競技、競争、興行、試運転 ・罰金、違約金、懲罰的賠償金 など							
	(※1) 保険証券に記載された者 (被保険者ご本人) の他、日本国外に居住する次に掲げる者を含みます。 ①ご本人の配偶者 ②ご本人または配偶者と生計を共にする同居の親族 ③ご本人または配偶者と生計を共にする別居の未婚の子	<table><tr><td>事故発生地^(※1)</td><td>自己負担額</td></tr><tr><td>米国・カナダ</td><td>US\$250,000</td></tr><tr><td>ヨーロッパ諸国^(※2)、オセアニア諸国</td><td>US\$100,000</td></tr><tr><td>上記以外</td><td>US\$ 30,000</td></tr></table> *1 いずれも属領、信託統治領を含みます。 *2 ロシア・東欧は上表の「上記以外」の区分となります。 注 賠償金額の決定には、事前に弊社の承認を必要とします。	事故発生地 ^(※1)	自己負担額	米国・カナダ	US\$250,000	ヨーロッパ諸国 ^(※2) 、オセアニア諸国	US\$100,000	上記以外	US\$ 30,000
事故発生地 ^(※1)	自己負担額									
米国・カナダ	US\$250,000									
ヨーロッパ諸国 ^(※2) 、オセアニア諸国	US\$100,000									
上記以外	US\$ 30,000									
	(※2) 次のものに対する損害賠償責任に対しては上記保険金をお支払いできない主な場合の「被保険者が所有、使用、管理する財物に対する損害賠償責任」の記載に関わらず保険金をお支払いいたします。 ・ 宿泊施設の客室、宿泊施設の客室内の動産 (客室外のセーフティボックスおよび客室のキーを含みます。) ・ 火災、爆発、破裂および漏水、放水または溢水 (いっすい) による水濡れにより被保険者の居住のための住宅に与えた損害 ・ 賃貸業者より保険契約者または被保険者が直接借り入れた旅行用品、生活用動産について生じた損害 ・ 住宅内で一時的に預かったもの (パーティ招待客のコートなど)									

●被保険者とは保険の対象となる方をいいます。

補 償 項 目	保険金をお支払いする場合	お支払いする保険金	保険金をお支払いできない主な場合
被 害 者 治 療 費 用	保険期間中に次の事故による他人の身体の障害について、被保険者がその治療費用を負担した場合 ・あらかじめ指定した地域における、被保険者の居住のための住宅の所有、使用または管理に起因する偶然な事故 ・日常生活に起因する偶然な事故	被害者1名につき、被害者治療費用保険金額を限度として、事故の発生の日から1年以内に要した治療費用をお支払いします。	・被保険者の職務遂行に起因する他人の身体の障害 ・被保険者の使用人が被保険者の業務に従事中に被った身体障害 (家事使用人については病気に限りす。) ・被保険者と同居する親族の身体の障害 ・被保険者の心神喪失に起因する他人の身体の障害 ・被保険者または被保険者の指図による暴行・殴打に起因する他人の身体の障害 ・自動車、オートバイ等の車両に起因する他人の身体の障害 など
携 行 品 損 害	責任期間*中に携行品 ^(※) (カメラ、カバン、衣類、航空券、旅券、運転免許証など) が、盗難・破損・火災などの偶然な事故により損害を受けた場合 ※被保険者が所有 (旅行行程開始前に被保険者がその旅行のために賃貸業者以外の他人から無償で借り入れたものを含みます。) かつ携行する身の回り品をいいますが、 次のものは対象となりません。 ・現金、小切手、株券・手形等、印紙・切手等、定期券、預貯金証書、クレジットカード、稿本、設計書、船舶、自動車、オートバイ、山岳登山等危険な運動等を行っている間のその運動等のための用具、ウィンドサーフィン・サーフィン等のスポーツの用具、義歯、義肢、コンタクトレンズ、動植物、商品・製品等、業務の目的のみに使用される設備・什器、データ、ソフトウェア・プログラム等の無体物など ・被保険者が携行していないもの (被保険者の居住施設内にあるものや別送中のもの等)	携行品1つ (1点・1組または1対) あたり10万円 (乗車券・航空券等の場合は合計5万円) を限度として損害額をお支払いします。 ただし、携行品損害保険金額をもって保険期間中の支払いの限度とします。 注1 損害額とは再調達価額 (同等の物を新たに購入するのに必要な金額) または修繕費のいずれか低い方をいいます (修繕が可能な場合には再調達価額を限度として修繕費をお支払いします。)。 注2 旅券については、旅券の取得または渡航書の取得に要した被保険者の交通費、発給手数料、電信料、発給地における被保険者の宿泊施設客室料、発給用の写真代、発給のために必要な通訳雇入費を損害額とします (1事故につき合計10万円まで)。 注3 運転免許証については、国または都道府県に納付した再発給手数料を損害額とします。	前記「傷害死亡」の保険金をお支払いできない主な場合1.の①、③、⑦、⑧により生じた損害に加え、以下により生じた損害 ・差押え、没収、破壊等の公権力の行使 (火災消防・避難処置、空港等の安全確認検査での錠の破壊は対象となります。) ・携行品の自然の消耗、性質の変質・変色、欠陥 ・すり傷、塗料のはがれ等の外観の損傷 ・偶然・外来の事故に起因しない電気的事故・機械的事故 (故障等) ・保険の対象である液体の流失 ・置き忘れ、紛失 など なお、被保険者が有償で借りた携行品の損害に対しては、保険金をお支払いできません。ただし、賃貸業者から借りた旅行用品または生活用品に損害が生じ賃貸業者から損害賠償請求された場合は、前記個人賠償責任で保険金をお支払いすることができます。
生 活 用 動 産 (長期契約用)	保険期間中に海外現地の居住施設・宿泊施設内にある被保険者所有の家財・身の回り品 ^(※) および通勤・買物・旅行などの際に携行している被保険者所有の身の回り品 ^(※) が火災・盗難などの偶然な事故によって損害を受けた場合 (※) 家財・身の回り品には、旅行行程開始前に被保険者が、その旅行のために他人から無償で借りたものを含みます。 注 次 のものは対象となりません 現金、小切手、株券・手形等、印紙・切手等、定期券、預貯金証書、クレジットカード、稿本、設計書、コンピュータープログラムおよびそのデータ、船舶、自動車、オートバイ、山岳登山等危険な運動等を行うための用具、ウィンドサーフィン・サーフィン等のスポーツの用具、義歯、義肢、コンタクトレンズ、動植物、飲食品、燃料品、輸送中の物、クリーニング等のため業者に委託した物、商品・製品等、業務の目的のみに使用される設備もしくは什器等、データ、ソフトウェア・プログラム等の無体物 など	家財・身の回り品1つ (1点・1組または1対) あたり20万円 (乗車券・航空券等の場合は合計5万円) を限度として損害額をお支払いします。 ただし、生活用動産 (長期契約用) 保険金額をもって同一年度内に生じた事故による損害に対する支払いの限度とします。 注1 損害額とは時価額 (同等の物を新たに購入するのに必要な金額から使用による消耗 (減価) 分を控除して算出した金額) または修繕費のいずれか低い方をいいます。 (修繕が可能な場合には時価額を限度として修繕費をお支払いします。) 注2 旅券については、旅券の取得または渡航書の取得に要した被保険者の交通費、発給手数料、電信料、発給地における被保険者の宿泊施設客室料、発給用の写真代 (1事故につき合計5万円まで) 注3 運転免許証については、再発給手数料を損害額とします。	前記「傷害死亡」の保険金をお支払いできない主な場合1.の①、③、⑦、⑧により生じた損害に加え、以下により生じた損害 ・差押え、没収、破壊等の公権力の行使 (火災消防・避難処置、空港等の安全確認検査での錠の破壊は対象となります。) ・保険の対象の自然の消耗、性質の変質・変色、欠陥、楽器の音色または音質の変化 ・保険の対象に対する修理、調整、清掃 ・すり傷、塗料のはがれ等の外観の損傷 ・偶然・外来の事故に起因しない電気的事故・機械的事故 (故障等) ・置き忘れ、紛失 ・詐欺、横領 ・火災、爆発、風水災、盗難などを伴わないガラス器具、陶磁器、美術・骨とう品の破損事故、保険の対象である液体の流出 など
	「海外駐在員プラン」の場合、賠償責任・生活用動産の家族補償特約 (長期契約用) がセットされ、保険証券に記載された者 (被保険者ご本人) の他、日本国外に居住する次に掲げる者が所有する身の回り品の損害についてもお支払いの対象となります。 ①ご本人の配偶者 ②ご本人または配偶者と生計を共にする同居の親族 ③ご本人または配偶者と生計を共にする別居の未婚の子		

※印の用語のご説明

- 「責任期間」とは、保険期間中であかつ旅行行程中 (海外旅行の目的をもって、住居を出発してから住居に帰着するまで) をいいます。
- 「ケガ」とは、急激かつ偶然な外来の事故により身体に被った傷害をいいます。ケガには、偶然かつ一時に吸入した有毒ガスまたは有毒物質による急性中毒を含みます。
- 「特定の感染症」とは、コレラ、ペスト、天然痘、発疹チフス、ラッサ熱、マラリア、回帰熱、黄熱、重症急性呼吸器症候群 (SARS)、エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、マールブルグ病、コクシジオイデス症、デング熱、顎口虫 (がっこうちゅう)、ウエストナイル熱、リッサウイルス感染症、腎症候性出血熱、ハンタウイルス肺症候群、高病原性鳥インフルエンザ、ニパウイルス感染症、赤痢、ダニ媒介性脳炎、腸チフス、リフトバレー熱、レプトスピラ症をいいます。

ご契約いただく海外旅行保険の概要

ご契約いただくタイプによっては、セッされている補償項目がありますのでご注意ください。
ご契約に際しては、重要事項説明書、個人情報取扱説明書、ご契約内容確認事項を必ずご覧ください。

補 償 項 目	保険金をお支払いする場合	お支払いする保険金	保険金をお支払いできない主な場合
旅 行 事 故 緊 急 費 用	責任期間*中に生じた予期せぬ偶然な事故 ^(※1) がもとで、被保険者が責任期間*中に負担を余儀なくされた費用 ^(※2) をお支払いします ^(※3) 。 (※1) 公的機関、交通機関、宿泊機関、医療機関または旅行会社（ツアーオペレーターを含みます。）により、その発生が証明されるものに限ります。 (※2) ①交通費、②宿泊施設の客室料、③食事代、④国際電話料等通信費、⑤渡航手続費、⑥渡航先で受ける予定であった旅行サービスの取消料、⑦身の回り品購入費をいい、社会通念上妥当な金額とします（他の特約で保険金支払の対象となる額、払い戻しを受けた額、負担することを予定していた金額を控除します。）。ただし、③食事代については次のa.またはb.のいずれかに該当した場合に、⑦身の回り品購入費については次のc.に該当した場合に限りお支払いします。 a.被保険者が搭乗予定の航空機の6時間以上の出発遅延、欠航、運休、搭乗予約受付業務の不備による搭乗不能または搭乗した航空機の着陸地変更により、6時間以内に代替機を利用できない場合 b.被保険者が搭乗した航空機の遅延（搭乗予定航空機の出発遅延、欠航、運休、搭乗予約受付業務の不備による搭乗不能を含みます。）または着陸地変更により乗継予定航空機に搭乗できず、乗継地への到着時刻から6時間以内に代替機を利用できない場合 c.被保険者が乗客として搭乗する航空機の到着後6時間以内に、航空会社に運搬を寄託した手荷物が、目的地に運搬されなかった場合で、航空機がその目的地に到着してから96時間以内に費用を負担した場合 (※3) 上記※2の①から⑥の合計で5万円が保険期間中の限度となります（ただし、③食事代については5千円が保険期間中の限度となります。）。また、⑦身の回り品購入費については、①～⑥とは別に、10万円が保険期間中の限度となります。	前記「傷害死亡」の保険金をお支払いできない主な場合1.の②、③、⑦～⑨により生じた費用および 2.に該当する場合に加え、以下によって生じた費用 ・保険契約者、被保険者や保険金受取人の故意、重大な過失または法令違反 ・地震・噴火、これらによる津波 ・妊娠、出産、早産、流産またはこれらに起因する病気の発病 ・歯科疾病 ・被保険者が乗客として搭乗しているまたは搭乗予定の交通機関のうち、運行時刻が定められていないものの遅延または欠航・運休 ・ビッケル等の登山用具を使用する山岳登山、スカイダイビング、ハンググライダー等危険なスポーツを行っている間	前記「傷害死亡」の保険金をお支払いできない主な場合1.の②、⑦、⑧により生じた損害に加え ・保険契約者や被保険者または保険金受取人の故意、重大な過失または法令違反 ・地震・噴火、これらによる津波
航 空 機 寄 託 手 荷 物 遅 延	被保険者が旅行行程中に航空機搭乗時 ^(※1) に運搬を寄託した手荷物が、航空機の到着後6時間以内にその目的地に運搬されなかった場合 ^(※) 被保険者が乗客として搭乗する航空機に限ります。	被保険者が支出した次の費用（他人への謝金・礼金を含みません。）を1回の事故につき10万円を限度にお支払いします。 ①衣類（寄託手荷物に含まれていた下着、寝間着など必要不可欠な衣類）購入費 ②生活必需品（寄託手荷物に含まれていた洗面用具、かみそり、くしなど）購入費 ③前記①、②以外にやむを得ず必要となった身の回り品購入費 ④被保険者が目的地に到着してから96時間以内に目的地にて負担した費用に限ります。また、その寄託手荷物が被保険者のもとに到着した後に負担した費用を除きます。	前記「傷害死亡」の保険金をお支払いできない主な場合1.の②、⑧により生じた損害に加え ・保険契約者や被保険者または保険金受取人の故意、重大な過失または法令違反 ・地震・噴火、これらによる津波
航 空 機 遅 延 費 用	責任期間*中に次のいずれかに該当した場合 ①被保険者が搭乗予定の航空機の6時間以上の出発遅延、欠航、運休、搭乗予約受付業務の不備による搭乗不能または搭乗した航空機の着陸地変更により、6時間以内に代替機を利用できない場合 ②被保険者が搭乗した航空機の遅延（搭乗予定航空機の出発遅延、欠航、運休、搭乗予約受付業務の不備による搭乗不能を含みます。）または着陸地変更により乗継予定航空機に搭乗できず、乗継地への到着時刻から6時間以内に代替機を利用できない場合	被保険者が支出した費用で社会通念上妥当な次の費用をお支払いします。ただし、1回の左記①の出発遅延、欠航、運休、搭乗不能、着陸地変更または左記②の到着機の遅延につき、2万円を支払いの限度とします。 ①出発地（着陸地・乗継地）において、代替となる他の航空機が利用可能となるまでの間に負担した宿泊施設等客室料、食事代、交通費（宿泊施設等への移動に要するタクシー代等の費用またはその航空機の代替となる他の交通手段を利用した場合の費用）、国際電話料等通信費（払戻しを受けた額または負担することを予定していた金額を控除します。） ②目的地で提供を受ける予定であった旅行サービスの取消料等	前記「傷害死亡」の保険金をお支払いできない主な場合1.の②、⑧により生じた損害に加え ・保険契約者や被保険者または保険金受取人の故意、重大な過失または法令違反 ・地震・噴火、これらによる津波
緊 急 一 時 帰 国 費 用 ご希望により追加してセッできるオプション特約	責任期間*中（一時帰国している期間を除きます。）に次のいずれかに該当したことにより緊急に一時帰国した場合 ①被保険者の配偶者または被保険者の2親等内の親族の死亡 ②被保険者の配偶者または被保険者の2親等内の親族の危篤 ③被保険者の配偶者または被保険者の2親等内の親族の搭乗する航空機または船舶の行方不明・遭難 ④①～③のいずれかに該当した日からその日を含めて10日以内に一時帰国し、かつ、帰国後30日以内に再び海外の滞在地へ戻る事がお支払いの要件となります。	保険契約者または被保険者が支出した費用のうち社会通念上妥当な次の費用をお支払いします。ただし、1回の帰国につき緊急一時帰国費用保険金額を限度としてお支払いします。 ①被保険者の一時帰国に要する通常の経路による往復の航空運賃等の交通費 ②一時帰国の行程および一時帰国した地における被保険者の宿泊施設等客室料（14日分まで③と合計で20万円まで） ③通信費、渡航手続費および一時帰国した地において支出した交通費（②と合計で20万円まで） ④同一の配偶者・親族について同一の事由により複数回一時帰国した場合は、2回目以降の帰国に要した費用はお支払いしません。ただし、同一の配偶者・親族の危篤により2回目の帰国をした場合で、その一時帰国後30日以内に死亡した場合は、その一時帰国についても保険金をお支払いします。	・保険契約者、被保険者や保険金受取人の故意または重大な過失 ・海外渡航開始前または保険期間開始前（継続契約の場合はこの保険契約が継続されてきた最初の保険契約の開始時）のいずれか遅い時より前に発病した病気 ・左記「保険金をお支払いする場合」①、②の原因または③の事由が発生したとき以前に購入またはその予約がなされた航空券等を利用して一時帰国した場合 など ⑤この保険金の支払対象となる費用について保険契約者または被保険者が勤務先の慶弔規定等により給付を受けられる場合は、その額を差し引いた額をお支払いします。

●被保険者とは保険の対象となる方をいいます。

補 償 項 目	保険金をお支払いする場合	お支払いする保険金	保険金をお支払いできない主な場合
旅行変更費用 出国中止費用 補償対象外特約セッ ご希望により追加してセッできるオプション特約	出国してから次のいずれかに該当したことにより、被保険者が旅行を途中で取りやめ帰国した場合 ①被保険者、同行予約者（以下「被保険者等」といいます。）または被保険者等の配偶者もしくは被保険者等の3親等内の親族が死亡された場合または危篤となった場合 ②被保険者等がケガ*や病気*で入院された場合または、被保険者等の配偶者もしくは被保険者等の2親等内の親族がケガ*や病気*で14日以上継続して入院された場合（14日経過以前に死亡された場合を含みます。） ③被保険者等が搭乗中の航空機・船舶が行方不明もしくは遭難した場合または山岳登山中に遭難した場合 ④急激かつ偶然な外来の事故により緊急な捜索・救助活動が必要な状態となったことが警察等公的機関により確認された場合 ⑤被保険者等の居住する建物またはこれに収容される家財が火災、台風、なだれ等により100万円以上の損害を受けた場合 ⑥被保険者等が証人または鑑定人として裁判所へ出頭する場合 ⑦被保険者等の渡航先またはこれから訪れる予定の渡航先において、次のいずれかの事由が発生した場合 ・地震・噴火、これらによる津波 ・戦争、革命などの事変、暴動やテロ行為 ・利用を予定していた運送機関・宿泊機関等の事故または火災 ・渡航先に対する日本国政府の退避勧告等の発出 ⑧被保険者等に官公署の命令、外国の出入国規制または感染症による隔離が発せられた場合 ⑨被保険者等に災害対策基本法に基づく避難指示等が公的機関から出された場合 ※妊娠、出産、早産、流産、歯科疾病を除きます。	保険契約者、被保険者またはこれらの法定相続人が負担した次の費用を、旅行変更費用保険金額を限度にお支払いします（旅行が企画旅行の場合は下記1. または3. のいずれか高い額を、それ以外の旅行の場合は下記2. または3. のいずれか高い額をお支払いします。）。 1. 次の算式により算出した額 $\frac{\text{旅行変更費用保険金額} \times \text{中途帰国した日以後の日数}}{\text{または旅行代金} \times \frac{\text{旅行日程の日数}}{\text{のいずれか小さい金額}}}$ ④旅行代金について払い戻しを受けられる場合は、旅行代金より払い戻しの額を控除した額を旅行代金とします。 2.次の費用 ①中途帰国したことにより取消料・違約料などの名目で旅行者等に支払った費用（出国後3か月以内に提供を受けるものに限ります。） ②渡航手続費として支払った費用。 ③上記費用には今後支払うべき費用を含み、払戻しを受ける額を除きます。また、②の費用については、中途帰国した後に使用できるものに対する費用も除きます。 3.次のいずれかに該当する場合の帰国に要する①、②の費用 ・航空券等（その利用日が出国後3か月以内の場合に限ります。）の購入の予約がされているか既に購入されている場合 ・旅行が企画旅行で、旅行代金の中に帰国のため利用する交通機関の航空券等の費用が含まれている場合 ①被保険者の航空運賃等交通費 ②被保険者の宿泊施設等客室料（14日分限度）、通信費、渡航手続費（合計20万円まで） ④中途帰国したことにより払戻しを受けた運賃、治療・救援費用保険金により支払われる額を控除します。） ◎この特約の責任期間は、出国日当日に保険のご契約をされた場合でも、保険契約日の翌日午前0時に開始します。	次の①～④により生じた費用 ①次のような原因により左記「保険金をお支払いする場合」の①～⑤に該当した場合 ・保険契約者、被保険者や保険金受取人の故意または重大な過失 ・けんかや自殺・犯罪行為 ・被保険者による自動車、オートバイの無資格運転、酒酔運転、麻薬などを使用しての運転 ・日本国内における地震・噴火、これらによる津波 ・戦争、革命などの事変 ・核燃料物質による事故または放射能汚染 ②むちうち症または腰痛で医学的他覚所見のないものによって左記「保険金をお支払いする場合」の②が生じた場合 ③保険料領収前または契約日前に、左記「保険金をお支払いする場合」の①～⑨に該当していた場合またはその原因（死亡・危篤・入院等の原因となったケガの発生、病気の発病または隔離の原因となった感染症の発病をいいます。）が生じていた場合 ④ビッケル等の登山用具を使用する山岳登山、スカイダイビング、ハンググライダー等危険なスポーツまたは自動車、オートバイ、モーターボート等による競技、興行、試運転によって左記「保険金をお支払いする場合」の①、②が生じた場合 など
留学継続費用 ご希望により追加してセッできるオプション特約	あらかじめ指定された被保険者（留学生 ^(※) ）の扶養者が次のいずれかに該当する状態になり、被保険者が扶養者に扶養されなくなった場合 ①保険期間中の事故によるケガ*が原因で事故の発生の日からその日を含めて180日以内に死亡された場合 ②保険期間中の事故によるケガ*が原因で事故の発生の日からその日を含めて180日以内に重度後遺障害を被った場合。（重度後遺障害の例） ・両目が失明した。 ・咀嚼（そ）しゃくまたは言語の機能を全廃した。 など (※) 留学生とは勉強、研修および技術習得を目的として海外の学校に留学する方をいいます。	扶養者が左記保険金をお支払いする場合①、②の状態となった時から予定留学終了時までの年数に、留学継続費用保険金額を乗じた額を一時にお支払いします。（1年未満の日数があるときは日割によります。） ④予定留学終了時までの期間と一致するように保険期間を設定してください。	前記「傷害死亡」の保険金をお支払いできない主な場合1.の②、④～⑧に加え ①扶養者の死亡・重度後遺障害が次のような原因により生じたものである場合 ・保険契約者、被保険者や扶養者の故意または重大な過失 ・扶養者による自動車、オートバイの無資格運転、酒酔運転、麻薬などを使用しての運転 ②扶養者が左記保険金をお支払いする場合①、②の状態になった時に被保険者が学校に在籍する学生・生徒でない場合 ③扶養者が左記保険金をお支払いする場合①、②の状態になった時に、扶養者が被保険者を扶養していない場合 など

*印の用語のご説明

- 「責任期間」とは、保険期間中であつ旅行行程中（海外旅行の目的をもって、住居を出発してから住居に帰着するまで）をいいます。
- 「ケガ」とは、急激かつ偶然な外来の事故により身体に被った傷害をいいます。ケガには、偶然かつ一時に吸入した有毒ガスまたは有毒物質による急性中毒を含みます。
- 「特定の感染症」とは、コレラ、ペスト、天然痘、発疹チフス、ラッサ熱、マラリア、回帰熱、黄熱、重症急性呼吸器症候群（SARS）、エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、マールブルグ病、コクシジオイデス症、デング熱、顎口虫（がっこうちゅう）、ウエストナイル熱、リッサウイルス感染症、腎症候性出血熱、ハンタウイルス肺症候群、高病原性鳥インフルエンザ、ニパウイルス感染症、赤痢、ダニ媒介性脳炎、腸チフス、リフトバレー熱、レプトスピラ症をいいます。

ご契約いただく海外旅行保険の概要

●被保険者とは保険の対象となる方をいいます。

ご契約いただくタイプによっては、セットされていない補償項目がありますのでご注意ください。
ご契約に際しては、重要事項説明書、個人情報の取扱説明書、ご契約内容確認事項を必ずご覧ください。

補 償 項 目	保険金をお支払いする場合	お支払いする保険金	保険金をお支払いできない主な場合
代替要員派遣費用 ご希望により追加してセットできるオプション特約	次のいずれかに該当したことにより被保険者の使用者（雇用主など）が代替要員を派遣した場合 ①被保険者が責任期間*中の事故によるケガ*または自殺行為が原因で事故の発生の日からその日を含めて180日以内に死亡された場合 ②被保険者が責任期間*中に病気または妊娠・出産・早産・流産を原因として責任期間*中に死亡された場合 ③被保険者が責任期間*中に発病した病気（責任期間*中に医師の治療を開始しその後も引き続き医師の治療を受けていた場合に限りします。）が原因で責任期間*終了後その日を含めて30日以内に死亡された場合 ④被保険者が責任期間*中の事故によるケガ*または責任期間*中に発病した病気（責任期間*中に医師の治療を開始した場合に限りします。）が原因で継続して3日以上入院（妊娠、出産、早産または流産に起因する病気および歯科疾病は含みません。）された場合	代替要員を派遣したことにより被保険者の使用者（雇用主など）が支出した次の費用を使用者にお支払いします。ただし、代替要員派遣費用保険金額をもって同一年度内に生じたケガ、発病した病気に対する支払いの限度とします。また、お支払いする費用は「保険金をお支払いする場合」の①～④に該当した日からその日を含めて180日以内に使用者が負担した費用に限りします。 ①代替要員1名分の勤務地までの航空運賃等の往復運賃 ②代替要員1名分の勤務地および勤務地までの行程における宿泊施設客室料（「保険金をお支払いする場合」の①～③に該当した場合は30日分まで、「保険金をお支払いする場合」の④に該当した場合は被保険者の入院日数の2倍の日数分または30日分のいずれか短い日数分を限度とします。）	前記「傷害死亡」の保険金をお支払いできない主な場合1.の② ^(※1) 、③ ^(※2) 、⑦、⑧、および2.に該当する場合に加え、 ・保険契約者、被保険者や使用者の故意または重大な過失 (※1)自殺行為により、その行為の日からその日を含め180日以内に死亡された場合は保険金をお支払いします。 (※2)責任期間*中に被ったケガ*を直接の原因として、そのケガの原因となった事故の発生の日からその日を含めて180日以内に死亡した場合は保険金をお支払いします。 など

●保険期間が3か月以上の場合には、「一時帰国中補償特約」がセットされます。（数次旅行者に関する特約がセットされている場合を除きます。）

一 時 帰 国 中 補 償	責任期間*中の途中で、被保険者が一時的に日本に帰国する場合に、被保険者が外国為替及び外国貿易法に規定する居住者である場合は、帰国した日の翌日から起算して30日間、非居住者である場合は90日間を旅行行程中とみなしてご契約いただいたプランに基づく保険金（傷害死亡保険金、傷害後遺障害保険金、治療・救援費用保険金、疾病死亡保険金、賠償責任保険金に限りします。）をお支払いします。
---------------	--

*印の用語のご説明

- 「責任期間」とは、保険期間中でかつ旅行行程中（海外旅行の目的をもって、住居を出発してから住居に帰着するまで）をいいます。
- 「ケガ」とは、急激かつ偶然な外来の事故により身体に被った傷害をいいます。ケガには、偶然かつ一時に吸入した有毒ガスまたは有毒物質による急性中毒を含みます。

もしもの時でも、海外主要55都市に日本語対応のJiデスクが設置されているから安心！（2011年3月現在）



海外主要
55都市
をカバー



お申込みにあたって

このパンフレットは海外旅行保険の概要をご紹介します。ご契約にあたっては、必ず『重要事項説明書』もよくお読みください。また、詳しくは『海外旅行保険』のしおり（海外旅行保険普通保険約款・特約）をご用意しておりますので、必要に応じて、弊社代理店または弊社にご請求ください。ご不明な点等がある場合には、弊社代理店または弊社までお問合わせください。ご契約者と被保険者（保険の対象となる方）が異なる場合は、このパンフレットの内容を被保険者全員にご説明いただきますようお願い申し上げます。弊社代理店は、弊社との委託契約に基づき、保険契約の締結・保険料の領収・保険料領収証の交付・契約の管理業務等の代理業務をおこなっております。したがって弊社代理店とご締結いただいて有効に成立したご契約につきましては、弊社と直接契約されたものとなります。

引受保険会社



〒102-0082 東京都千代田区一番町20-5 <http://www.jihoken.co.jp>

この保険に関するお問合わせは右記取扱代理店または下記へ
 お客様専用フリーダイヤル：0120-877030
 一部お繋ぎできないIP電話等からは03-3237-2921をご利用ください。
 受付時間：平日の午前9:00～午後5:00（土日・祝日・年末年始はお休みとさせていただきます。）

代理店通信欄

- ①プランにより申込書が異なります。短期留学プランはセットタイプ（31日以内）専用申込書を、その他のプランは留学・長期旅行・駐在員申込書をご使用ください。
- ②発券機（おさむくん）を利用されている場合107～109、197～200タイプは、メインメニュー「一般」からの発券になります。

取扱代理店